

令和8年度 東京都立南平高等学校 学校経営計画

校長 水島 伊彦

1 目指す学校像

(1)【スクールミッション】

「これからの社会を担う人間」を目指すべき生徒の将来像とし、自立した個人として自主自律の精神を
実践する人、有意な社会人として奉仕と連帯の精神を實踐する人、平和的な国際人として正義を愛し人権
を重んじ自他を深く愛する人を育成します。

(2)【スクールポリシー】

① グラデュエーション・ポリシー

- (ア) 身に付けた力を活用し、他者と協働して課題解決に向けて主体的に取り組むことのできる人材。
- (イ) 高い目標を設定し、目標達成のための地道な努力を継続し、自らの未来を自らの力で切り拓く
うとする人材。
- (ウ) 新たなことに挑戦し、予測不能な変化の激しい世の中で、他者と協働し社会に貢献できる人材。
- (エ) 幅広い知識と豊かな人権感覚及びコミュニケーション力を身に付け、グローバル化が進展する
社会で活躍できる人材。

② カリキュラム・ポリシー

- (ア) 組織的な授業改善を通して、主体的・対話的で深い学びを目指した授業を實踐する。
- (イ) スマート・スクール端末を効果的に活用し、学習活動を授業から家庭学習へとつなげ、自学自
習の態度を育む。
- (ウ) 3年間の進路指導計画に基づき、キャリア教育を實踐し、自らの未来を切り拓く力を育成する。
- (エ) 学校行事や部活動などの特別活動を通して、新たな課題に積極的に取り組み、地道に努力を継
続する態度とコミュニケーション力を育成する。
- (オ) 地域と連携した防災活動やボランティア活動を推進し、社会貢献の意識と実践力を醸成する。
- (カ) 国際交流活動を通して、異文化理解及び我が国の文化・伝統・歴史への理解を深め、グローバ
ル社会で活躍する資質・能力を育成する。
- (キ) 教育活動のあらゆる機会を活用し、いじめや体罰がなく、互いに人権を尊重し合い、安心して
学習できる環境を構築する。

③ アドミッション・ポリシー

多摩丘陵の麓に位置し、自然に恵まれた本校において、生徒たちは、学習活動はもちろん、様々な活動
に積極的に取り組み、伸び伸びと高校生活を送っています。その一員として、多くのことに関心をもち、
自ら学び、考え、活動するという主体的な生徒、積極的に本校に進学する意志のある、以下の項目に該当
する生徒を期待します。

- (ア) 学習活動に意欲的に取り組む習慣ができており、予習・復習など家庭学習を継続的に行ってい
る生徒。
- (イ) 学校行事、部活動、生徒会活動、社会貢献活動等で中心的な役割を果たし、今後も継続的な活
動が期待できる生徒。
- (ウ) 将来の進路への目的意識をもち、自己の適性、資質、能力を意欲的に伸ばし、進路実現に向け
て努力することのできる生徒。

2 中期的目標と方策

(1) 学習指導:「“わかる”から“できる”へ、生徒の心に火をつける授業」の実践

生徒による授業評価や相互授業参観・模試分析・外部の授業力向上研修参加による授業改善、デジタル利活用による効果的・効率的な教育活動の推進、学習課題に応じた個別指導及び組織的な補習・講習等の学習支援体制構築、自学自習や読書活動の推進を通して、生徒の学ぶ意欲を高め、確かな学力・幅広く豊かな教養を育む、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、全校を挙げて取り組む。

(2) 進路指導:「学びを力に、未来を切り拓く力」の育成

3年間を見据えた系統的かつ組織的な進路指導を実践する。キャリア教育を充実させるとともに、総合的な探究の時間等も活用し、自己の適性や在り方・生き方を考えさせ、早期から主体的に進路を選択できるよう支援する。進路指導部主導のもと、模試分析会、出願検討会、学年と教科の連携等を強化するための校内研修を充実させ、教員の進路指導力の向上を図る。総合型選抜や大学入学共通テストに対応した授業改善、進路ガイダンス等の進路行事、長期休業中の講習、最新の進路情報の収集と提供、大学との連携強化、面談指導等により、「第一志望をあきらめず、自己の未来を切り拓く力」の育成に取り組む。

(3) 生活指導:「規範意識と自他を大切にす精神」の醸成

開校以来のノーチャイム制の理念を基礎に、自主自律の精神の涵養を図り、生活習慣の自律性や社会の一員としての集団生活のマナー、交通ルール順守についてきめ細かな指導を徹底する。校内の環境整備を行い、落ち着いた学習環境を構築する。生徒の豊かな人権感覚を醸成し、いじめを絶対に許さない環境・風土を構築する。

(4) 特別活動・部活動等:「自主自律の精神」の醸成

学校行事や部活動において、豊かな心や人間関係形成力・コミュニケーション力を養うとともに、企画力、運営力、課題解決力を育み、自己肯定感・自己有用感を醸成する。部活動と勉強・学校行事の両立を図れる指導計画を策定し、ガイドラインに沿った活動を推進する。また、国際理解教育を通じて、英語力の向上及びグローバル化が進展する社会で活躍する資質・能力を育成する。生徒会・部活動におけるボランティア活動を推進し、社会に貢献できる能力と精神を育成する。

(5) 健康・安全・防災教育:「生涯にわたって心身ともに健康な生活をおくる力」の育成

教育活動のあらゆる機会を活用し、自分を愛し、他者を認め、生命を尊重する態度を醸成し、心身の健康づくりを図るとともに、教育相談体制充実させ、生徒の些細な変化を見逃さず、早期対応に努め、命に係る事故の未然防止に全力で取り組む。体育の授業・部活動・学校行事等を通して、生涯にわたりスポーツに親しむ精神と体力を育む。セーフティ教室、防災教育、主権者教育、インクルーシブ教育を通じて、自助・共助の精神、多様性の受容、社会参画意識醸成を推進する。また、災害発生時の体制を整備する。

(6) 募集・広報活動:「本校を第一志望とする生徒」の拡大

本校の特色ある教育活動を、中学生・保護者及び都民に対して発信し、募集対策とする。志望動向や入試情報を分析し、エビデンスに基づいた効果的な学校見学会・学校説明会等を実施する。学校外の説明会や相談会、学習塾訪問を全教員体制で組織的に行う。地域及び関係機関と連携した防災教育やボランティア活動を推進し、地域や社会に貢献する。

(7) 組織体制:「校務の改善と効率化及びライフ・ワーク・バランス」の推進

教員系・行政系職員が連携しながら、AIの活用や精選すべき業務の明確化等、組織的な業務の効率化によるライフ・ワーク・バランスの推進を図る。各種研修受講やOJTを通じて教員の資質・能力を向上させ、教育実践力のある教員の育成を図る。経営企画室の学校経営参加を推進するとともに、自律経営予算を有効活用し、教育環境の整備・改善を図る。風通しの良い職場環境構築による、体罰や個人情報紛失等の服務事故根絶に向けて全力で取り組む。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 学習指導

- ① 毎時の授業で授業目標・その時間のねらいの明示（「何を学ぶのか」、「何ができるようになるのか」）を行うとともに振り返り（「何を学んだのか」、「何ができるようになり、何ができているのか」）を行い、生徒が見通しをもって授業を受け、「もっと学びたい授業」を実践する。
- ② 教科主任会・教科会・学年会、模試分析会等で、定期考査・模擬試験・課題テスト等による生徒の学力習熟度や到達度、学習状況の共有を図り、その状況に応じた授業改善に取り組むとともに、組織的な学習指導・補習・講習、指導と評価の一体化を図る。
- ③ 学校内の相互授業参観や他校の授業参観、教職員研修センターの研修等への参加、研究授業等のOJTを通して、学校全体の授業力向上に努めるとともに、生徒による授業評価を活用して授業改善に取り組む。
- ④ 大学入試・模擬試験を意識した授業、知的好奇心を刺激する授業を実践するとともに、適切な小テスト・課題出題を行い、自学自習に取り組む姿勢や態度を育み、自学自習時間の確保を促す。
- ⑤ アクティブ・ラーニング型授業やICT機器・一人1台端末を効果的に利活用したデジタルとリアルの最適な組み合わせによる授業の推進と探究的な学びに取り組み、「個別最適な学びと協働的な学び」を実践し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。
- ⑥ 大学入試や民間検定試験に必要な読解力、記述力や論述力、プレゼン能力の育成・向上のための授業実践及び定期考査問題の作成を行い、全教科で言語能力の向上を図るとともに、探究的な学び及び学校図書館を活用した読書活動を推進する。
- ⑦ 総合的な探究の時間を充実させ、思考力・判断力を伸ばすとともに、自ら課題を設定し、課題解決を図る力を醸成する。
- ⑧ 東京薬科大学との高大連携や総合的な探究の時間の活動を通し、理数分野に興味・関心のある生徒の発掘及び探究活動の機会を増やし、生徒の学習意欲の向上と進路実現に資する。
- ⑨ いかなる環境下でも学びを止めない教育活動実施のための準備を整えとともに、多様な学習ニーズに対応した柔軟で質の高い学びの実現に取り組む。

(2) 進路指導

- ① 「進学指導等の充実事業推進校」として、学習意欲や自学自習の質の向上を図るための学習環境・自習環境を整備する取組を行うとともに、進路指導部を中心に組織的な進学指導体制の確立に取り組む、教員の進学指導の実践力と教科指導力をさらに高める。
- ② 3年間のキャリア教育年間指導計画に基づき、進路通信・進路ガイダンス等で情報発信を行い、「自ら希望する進路を決定できる指導」、「進路希望を実現させる指導」を行う。また、進路指導室の進路関連書籍を充実させ、常に閲覧できる体制を構築し、個々の生徒に応じた情報を提供する。
- ③ 総合的な探究の時間を活用し、自己の適性や在り方・生き方について深く考え、自己のキャリア形成について早期から主体的に取り組む、「自己の未来を切り拓く力」を育成する。
- ④ 学校内外の進路研修会への参加を促進し、最新の入試情報の蓄積・共有化を図り、学校全体の進路指導力向上を図る。
- ⑤ 模試結果閲覧ソフトによる個々の生徒の状況把握を行うとともに、組織的な模試分析を行い、分析結果を授業改善、講習、補習に生かす。また、出願指導検討会を実施し、「希望進路を実現させる指導」を充実させる。
- ⑥ 進路指導部と学年・教科主任会が連携し、精選した週末課題等を活用し自学自習時間の確保及び増加を図り、学習習慣の定着を図る。また、長期休業中に効果的な講習・補習を実施する。
- ⑦ 年2回の保護者会、年2回以上の個別面談や三者面談を実施し、模試分析結果等を活用し「希望進路の具体化」と、「第一志望を諦めさせない」粘り強い進路指導を行う。
- ⑧ 生徒対象の模試分析会、オープンキャンパスや大学訪問・分野別説明会の機会を設定し、「主体的に進路選択する力」を育成する。また、東京薬科大学との高大連携を生かし、早期からの医療系進学への興味関心を高め、医薬系の進路指導の充実を図る。

(3) 生活指導

- ① 始業時間に授業を開始し、不要物を机上にださせない等、規律ある授業展開を図る。
- ② 日々の清掃指導・清掃状況確認を徹底し、事故・問題行動の起こりづらい環境を整えるとともに、生徒ロッカー、掲示物、机・椅子・黒板等が整然としているHR教室の環境を構築し、学習環境の維持を徹底する。
- ③ 自転車乗車時のヘルメット着用を含む交通安全、薬物乱用防止、SNSの安全な活用を中心とした情報モラル等の指導を行うとともに、下校時刻等の時間を守る意識、登下校時の通学マナーや身だしなみ、挨拶の励行等の指導を徹底し、規範意識の醸成と自己管理能力の向上を図る。
- ④ いじめ等に係るアンケートを全ての生徒を対象に年に3回以上実施するとともに、月1回のいじめ対策委員会の開催により、いじめ未然防止と早期発見、早期対応に努める。
- ⑤ 学期に1回、いじめに係る校内研修を実施し、教員のいじめ未然防止と早期発見、早期対応のための資質・能力の向上を図る。

(4) 特別活動・部活動

- ① 生徒会や委員会活動、部活動を更に活性化させ、生徒の自主的な企画運営を促し、豊かな心やコミュニケーション力を伴う自主自律の精神を持った、リーダーシップを発揮できる生徒を育成するとともに、各活動がトライ&エラーによる探究的な学びとなるよう指導の工夫を図る。
- ② 体育祭・合唱コンクール・文化祭等の学校行事を一層充実・発展させ、生徒一人一人が主体的に参加し、自己肯定感や自己有用感を得られるものとする。
- ③ 部活動顧問は、活動時間・下校時刻の厳守、ガイドラインに基づく原則平日週1回、土日のうち1回を休養日の設定し、部活動と勉強・学校行事の両立を推進する。また、部活動年間指導計画を作成し、学校HP及び部活動保護者会等の機会を活用して周知を行い、保護者との連携を図る。
- ④ 生徒会や部活動は、中学生の体験活動、地域行事やボランティア活動への参加等、地域と連携した活動を進め、社会に貢献する精神を醸成する。また、特別支援学校との交流や障害者施設との交流を通じてインクルーシブ教育を推進する。
- ⑤ 海外学校間交流や大使館等との交流を通してグローバル感覚を醸成し、英語力の向上と多文化共生社会で活躍する資質・能力を育成する。
- ⑥ 令和9年度に海外研修を実施するための、安全で効果的な研修計画を立案する。

(5) 健康・安全・防災教育

- ① 始業式・終業式、HR、集会、講演会等のあらゆる機会を活用し、人権感覚と道徳観、生命尊重の精神を醸成する。また、あらゆる教育活動を通じSOSの出し方に関する教育を推進するとともに、学校HPで相談窓口の周知を行い、命に係る事故の未然防止に向けて全力で取り組む。
- ② スクールカウンセラーとの連携を密にし、生徒の特性理解や不安定な生徒の対応、SOSの出し方に関する校内研修を行うとともに、月1回の教育相談委員会による組織的な情報共有を行い、不登校や中途退学の未然防止、早期発見・早期対応に取り組む。
- ③ 都立学校発達障害教育等推進エリアネットワークを活用し、特別支援教育に対する教員の資質・能力の向上を図るとともに、特別支援教育コーディネーターが中止となり、必要に応じて関係専門機関と連携して、個別の支援教育を推進する。
- ④ 学校安全計画、学校保健計画に基づき、薬物乱用防止教室、性・DV、がん教育に関する講演会等を実施し、生徒の心身の健全な育成を図る。
- ⑤ 生徒の心身の健康状態等を把握するとともに、アレルギー対応・AEDの利用法等についての校内研修を実施し、全教職員が対応できるようにする。
- ⑥ 「TOKYO ACTIVE PLAN for students」を踏まえ、体力向上に取り組み、体力テスト結果を分析し、保健体育の授業をはじめ学校行事、部活動、HR活動等で社会を担うことのできる体力・気力・精神力を育む。また、「エンジョイスポーツプロジェクト」を活用し、専門家等との連携を行い、健康的な生活習慣の実践を促すことを通じて、豊かなスポーツライフに向けた資質・能力の向上を図る。

- ⑦ 防災教育年間指導計画に基づき、全教職員体制で防災教育を推進し、生徒が卒業するまでに上級救命講習を受講できるようにする。非常時に備えた緊急時の連絡体制を整備する。
- ⑧ 年4回の避難訓練、地域の関係機関と連携した年1回の防災講話、防災体験、防災活動等を含めた防災訓練を実施し、「自助」、「共助」の精神を養う。
- ⑨ 修学旅行での事前学習においても防災教育に取り組み、フィールドワークとして修学旅行で現地実習を行う。
- ⑩ 定期的な学校施設の安全点検を行い、課題のある点は迅速に修繕を行う。

(6) 募集・広報活動

- ① 新入生アンケートを実施し、志望動機や志望校決定時期等を調査し、効果的な募集対策を実施する。
- ② 授業公開や学校見学会・説明会・個別相談会、部活動体験、中学校・塾等の進路相談会等に参加し、全員体制で学校広報活動を推進する。
- ③ 学校HPの迅速な更新により、本校の教育活動を発信し、本校の特色を中学生・保護者をはじめ広く都民に周知する。

(7) 組織体制

- ① 会議資料フォルダ活用による会議前の情報共有、ペーパーレス会議、会議の定刻開始・定刻終了、AIの活用研修等を実施、部活動指導員の活用等、効率的な業務を推進し、定時外在校時間の縮減を図る。
- ② 年次有給休暇や夏季休暇の計画的かつ積極的な取得や、男性職員の育児休業取得推進、育児・介護と両立支援制度の有効活用等を促進し、ライフ・ワーク・バランスの取れた職場風土を構築する。
- ③ 管理運営規定に基づく企画調整会議を中心とした、組織的な学校運営、校務分掌間の協働体制を一層充実させる。
- ④ 主幹教諭・主任教諭の役割を明確化し、OJTによる教員育成に取り組むとともに、教育活動のPDCAサイクルを機能させる。
- ⑤ 年に3回以上のサービス事故防止研修を実施し、教育公務員としての在り方を自覚するとともに、教員相互でミスが事故にならない職場風土をつくり、サービス事故防止を徹底する。特に、クリーンデスク・Teams活用における個人情報紛失・流失防止、体罰・暴言・不適切指導の根絶、3ない運動徹底による生徒性暴力等防止、部費等の私費会計事故防止を徹底する。
- ⑥ 経営企画室を中心に事務処理の効率化を図り、保護者等への丁寧な説明と対応を推進する。
- ⑦ 予算編成指針に基づき、学校経営計画の実現に向けて適正かつ効果的な自立経営推進予算の編成・執行を図る。
- ⑧ 管理職は所属職員の心身にわたる健康状態に気を配り、相談、報告できるよう何でも言い合える明るい職場風土づくりを目指す。

4 重点目標と方策(数値目標)

ア 学力向上への取組	
授業評価アンケートにおける生徒の授業満足度(学力向上の実感)	90%
1日平均の自学自習時間(第3学年11月)	350分
1日平均の自学自習時間(第2学年2月)	120分
1日平均の自学自習時間(第1学年2月)	90分
全都に向けた研究授業の実施回数	年間20回
年3回以上の校内外の授業力向上研修等(含む授業参観)への参加率	100%
イ 希望進路実現及び希望進路実現に向けての取組	
大学入学共通テスト受験科目得点率75%以上	50名
国公立大学合格者数	25名
難関私立大学合格者数	30名
GMARCH合格者数	200名
長期休業中の講習・補習講座数	70講座
ウ 基本的生活習慣と規範意識の醸成に向けた取組	
学校評価アンケートにおける生活指導による規範意識向上に対する肯定割合	95%
年間遅刻延べ回数	900回
エ 特別活動・部活動の取組	
学校評価アンケートにおける生徒の学習と部活動の両立に対する肯定割合	80%
学校評価アンケートにおける生徒の行事満足度	90%
部活動加入率	85%
オ 健康・安全・防災教育の取組	
学校評価アンケートにおける防災教育による社会貢献度向上の肯定割合	88%
学校評価アンケートにおける教育相談体制の充実に係る肯定割合	85%
学校評価アンケートにおける校内環境美化に係る肯定割合	90%
カ 募集・広報活動の取組	
学校見学会・学校説明会・進学相談会の来場者数	4000名
推薦による入選の応募倍率	2.0倍
学力検査による入選の応募倍率	1.5倍
キ 組織体制	
1人当たりの月平均定時外在校時間	30時間以内
年次有給休暇取得15日以上	100%
夏季休暇完全取得	100%